2024 Reading and Writing 2A（田中）

【要約課題】Chapter 4-1 (p.20)

提出期限：6月11日（火）23:59

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 学籍番号 |
| 栗山淳 | 8223036 |

＊Chapter 4 (p.20) の各段落の要約を書きましょう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段落 | 行数 | 要約 |
| 1 | ll.1-4 | 工業大国グループ7社が中国の軍事的，経済的保障上の脅威の増大への非難や中国がロシアに対するウクライナへの軍事侵略をやめるように圧力をかけるよう求めるなどの意見で盛り上がった。 |
| 2 | ll.5-8 | 同グループは広島でのG7サミットで中国が南シナ海での干渉活動を行っているとして批判した。 |
| 3 | ll.9-10 | G7はロシアのウクライナへの侵略戦争に関し，ウクライナを可能な限り支援すると誓った。 |
| 4 | ll.11-14 | 同グループはウクライナへの支援は中国に損害や発展の妨げになるものではないと述べた。また，中国政府に対し，気候変動などの世界的な課題に対し，G7と連携するように求めた。 |
| 5 | ll.15-18 | 経済力の回復にはリスクの軽減と多様化が必要であり，サプライチェーンへの過剰な依存を減らすために自らの経済の活力に投資する措置を講じるとG7は声明を出した。 |
| 6 | ll.19-21 | 同グループは東シナ海と南シナ海の状況に対する懸念を改めて表明し，中国政府に対しウクライナに対する包括的で公正かつ永続的な平和を支持するように求めた。 |
| 7 | ll.22-27 | このような声明は2021年のG7で初めて中国について言及されて以来同グループの中国に対する最も強い批判を示すものとなった。しかし，台湾における平和的解決を求めるという比較的温和な文章はG7の加盟国間の妥協を示したものであり，このことについて不快感を抱いている人もいる。 |
| 8 | ll.28-31 | G7首脳は政治的目的のための懲罰的貿易慣行の利用に対抗するための新たな枠組みを発表した。この枠組みは中国をターゲットにしていると理解されている。 |
| 9 | ll.32-37 | G7サミット主催者の日本の岸田首相はブラジル，コモロ，インドネシアなどのグローバルサウスの国々も招待した。また，インドとオーストラリアの首相も招待し，クアッド会議に招集した。 |